

# ぜんしゅりきょり

全宗協

2019  
7月  
July

通巻90号

## 第32回通常総会を盛岡で開催!!

平成から時代が変わり、初となる通常総会が令和元年5月22日(水)、北海道・東北地区のホテルメトロポリタン盛岡NEW WINGにて開催されました。組合員数32名に対して、出席56名、委任状出席234名、合計290名で出席率は87.3%、定款38条で定める過半数を超え、本総会は有効に成立しました。

### 池田理事長ご挨拶

皆さま総会にご参集いただき、誠にありがとうございます。本日の総会の段取りをしていただきました北海道・東北地区の方々にもまず厚く御礼を申し上げます。

盛岡では初めての開催となりますが、この地域では今から8年前に東日本大震災が起き、青森県から関東に至るまで、その被害は広範囲に及びました。復興支援としましては、被災された土地を訪ね、その地で生産されたものを食し、人々と言葉を交わして経済効果をもたらすことも、交流の一つとしてとても大切ではないかと考えます。



私は昨年福岡の地で理事長を拝命したばかりの新米理事長であります。ここ数年総会への参加者が減ってきておりますので、組合員の皆さまにお

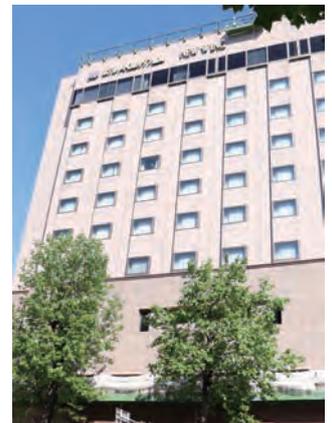


池田理事長

かれましては、日本各地で開催される全宗協の総会へ是非とも足を運んでいただき、日本を活性化させていただきますようお願いいたします。

また、本日の講演会は一般の方にも参加いただき、広く全宗協の活動を知っていただく講演会として初めての試みとなっておりますので、ご協力をいただきたいと思います。

総会当日は午前中から三役会、各委員会、ニューリーダー部会が行われ、15時より第32回通常総会が開催されました。ご来賓として全国中小企業団体中央会の政策推進部長大利滋様、全宗協顧問税理士望月博元先生にお越しいただきました。議案は滞りなく審議され、すべて可決承認されました。今回、初の試みとして記念講演会を一般公開で行い、2名の講師にご講演いただき



会場のホテルメトロポリタン盛岡NEW WING

ました。日本ラグビー史上最高のスタンドオフと呼ばれ、現在スポーツキャスターの松尾雄治氏からは、ラグビーで得たやりぬく心、諦めない心などモチベーションアップに繋がるお話をさせていただきました。力強い講演に皆さん圧倒されました。続いて松沢卓生氏は岩手県庁職員から一念発起して漆の精製販売業界へ転身された経歴の方で、漆の栽培から製造、開発とこれからの伝統文化の展望など、この業界にも深い関わりのある国産漆のお話に真剣に聞き入っていました。(↓P2〜P3に掲載)

### 登録はお済みですか?

10月からの10%消費税導入とともに、キャッシュレス・ポイント還元事業が始まります。



商品を購入したお客様がポイントの還元を受けるには、お店(小売り事業者)が決済事業者へ登録する必要があります。

※詳しくは下記HPをご覧ください。電話でお問い合わせください。

ポイント還元事業HP <https://cashless.go.jp/>

問い合わせ電話番号 0570-000655  
(平日10時~18時) (IP電話専用 042-303-4203)

松尾雄治氏 ご講演

「挑戦する心——やってみなければわからない——」



【プロフィール】

東京都出身。明治大学ラグビー部から新日鉄釜石に入り、日本ラグビー史上屈指のスタンドオフといわれ、数々の偉業を達成。現在は解説者、講演活動等を通じてラグビーの普及、競技者の育成に努める。

皆さんこんにちは。私は大学を出てから9年間、岩手でお世話になりました。今回岩手の方からお声をかけていただいたご縁でお話をするようになりました。

今日のタイトルは「挑戦する心」ですが、私は勉強を一度もしたことがありません。父親から勉強なんかしなくていい、運動ができればいい、と言われて育ちました。毎朝弟と一緒に走り、公園で父親が蹴るラグビーボールを追っては、また弟と競争。家に帰ると今度は相撲。毎日やっていると思うと勝てる手を考えるようになる、それが父の教育だったのかもしれない。

エスカレーター式の成城学園中学から高校に進級するも、勉強をしないから1年で退学に。でもラグビーの練習だけは欠かしませんでした。ラグビーができる所はないかと、父親と明大ラグビー部名監督の北島忠治先生を訪ねました。「どんな悪天候でも1日も休まず練習に通うと約束できるか？」と問われ、「はい」と返事。どこの馬の骨かわからない男が八幡山のグラウンドに毎日通い、大学生に交じって

練習することになりました。

そんな時、目黒高校の梅木恒明監督と出会いました。北島監督に便宜を図ってもらい目黒高校に入学、その翌日から2年間家に帰れないと言われ、「鬼の梅木」と言われた監督の元でラグビー漬けの生活が始まりました。

目黒高校を無事卒業し、推薦入学で明大ラグビー部へ入りました。スクラムハーフで日本代表にも選ばれ、世界でも通用するんじゃないかと自信がありました。3年の時に突然、スタンドオフへの転向を命じられました。慣れないポジションで骨折し、その年は日本に一度も出場できず、何度かやめたいと思いました。しかし、与えられたポジションで

自分の役割を果たし、翌4年の最後の試合で社会人チームを破り、日本一に輝きました。卒業後は、「これほどラグビーを愛しているチームなら絶対に強くなる」と思い、新日鉄釜石に入りました。そして前人未踏の7連覇を達成。ラグビー界の奇跡でした。私は何一つ教えてはいませんが、自分で学ぼう、自分でやってみようという気持ちで釜石のチームにはありました。自分で考え行動することが重要なのだと思います。

今年日本でラグビーのワールドカップが開催され、釜石でも2試合あります。日本人らしい細かい、器用なプレーで感動してもらえと思っていますので、応援宜しくお願いします。



■ 事業委員会

- ①PRAY for (ONE) の後方支援。
- ②仏事コーディネーター試験報告。



■ 正常化委員会

チラシの表示に関する討議を行った。

■ 会員増強委員会

過去5年間に組合員の入退会増減を把握し、退会減少を目標とした対策を検討。



■ ニューリーダー部

- ①平成30年5月23日 NL部総会
- ②平成30年11月12日～13日 名古屋研修会  
「泥船からの脱却」ワークショップ、市川木魚製造所様、暁産業様見学
- ③役員会（年3回開催）
- ④平成30年10月3日～4日 組合研修  
INORIのワークショップ：課題認識から具体的なアクションへ



松沢卓生氏 ご講演

「岩手の漆の魅力」



【プロフィール】

1995年より岩手県庁に勤務した後、浄法寺漆の認知拡大のために2009年「浄法寺漆産業」を設立。国産漆を用いた新たな日本工芸の分野を開拓。海外の展示会などにも参加し、浄法寺漆の普及に取り組んでいる。

本日は漆に関連のある業界の方へ私の活動をご紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、現在国内で消費される漆の97%は中国やベトナムの外国産で、国産漆の占める割合は3%を切っております。その少ない国産漆の75%が浄法寺産、それでも年間1トンほどの量です。

国産漆は主成分のウルシオール含有量が高く、強度・耐久性に優れた素材で、伸びが良くきれいに塗ることができ、外国産漆の下の仕上げとして使用されることも多くあります。昨年、小西美術工藝社のデービッド・アトキンソンさんが講演されたと同いでしたが、同社が手がけた日光東照宮の二社一寺の修復からは下地の工程から国産漆を使用しており、他の文化建造物の修理でも国産漆の需要は急激に高まっています。

漆は木を植えてから10〜15年育て、木の樹皮に傷をつける「漆掻き」をします。一滴ずつ半年かけて漆を取りつくし、伐採してしまふ「殺し掻き」が現在の主流です。1本の木

からわずか200mlですが、この手法が一番効率よく量が取れます。江戸時代から続くこの漆の技術を日本の伝統的、文化的な面でも後世に残していかなくてはなりません。

私はもともと県の職員でしたが、まさに漆にかぶれてこの業界に入ったので、代々続く職人と違い、伝統にとらわれず自由な発想で漆の使い方を考えることができます。「100%浄法寺塗りで作った名刺」「スイスのメーカーとコラボした文具」「自動車の漆のステアリング」、また、豪華列車といわれるJR東日本の「四季島」では、内装に漆塗りのデザインが採用されました。そして、「チューブ入りの漆」や異素材の「萩ガラスとのコラボ」で、グッドデザイン賞もいただきました。

伝統の継承と技術の革新が重要となります。漆を効率よく採るための機械による量産の研究を始めています。衝撃波処理により細胞膜を破壊して、現在の2〜3倍の樹液を抽出する技術を来年までに確立したいと思っております。そして、次世代に向けた『NPO法人ウルシネクスト』の活動では、漆を種から育成し、漆の生産、伐採までの循環システムの効率化を目指しています。また、漆の特性として自然に還るエコロジーの側面などを生かし、SDGsという国連が定めた「世界を変えるための17の目標」に漆を関連づけた活動もしております。

皆様にも改めて漆の魅力、漆は面白いものだご賛同いただけたら嬉しいです。

平成30年度 各委員会事業報告

■ 総務委員会

- ①全国研修会：平成30年10月3日〜4日、メルパルク京都にて全国研修会を開催。「INORI のワークショップ：課題認識から具体的なアクションへ」をテーマに、2名の外部講師による講演とさまざまなワークショップを実施。前年の研修をより深める具体的な手法と考え方を学び、参加者の高い評価を得た。本年度も全国中央会の補助を受けての開催となった。
- ②会報の発行：7月、12月と年2回会報『ぜんしゅうきょう』を発行した。



■ 広報委員会

- ①6月28、29日『フューネラルビジネスフェア』、8月22〜24日『エンディング産業展』にPRAY for (ONE) ブース出展。
- ②12月10日全日本仏教会・東京都仏教連合会主催『成道会の集い』にて PRAY for (ONE) と祈り鶴のPR。
- ③3月27日東京池上本門寺・朗峰会館にて第2回「祈りの日」記念法要を PRAY for (ONE) で開催。書家金澤翔子氏の席上揮毫、母・泰子氏を交えた座談会、祈り鶴のワークショップを行う。
- ④各種関連イベント協賛。フジテレビ本社前、ホテル日航新潟の展望室にて祈り鶴を作成掲示。年間通し PRAY for (ONE) の普及、新ブランドシンボル「INORI JAPAN」の周知に努めた。



## 懇親会

藩政時代より踊り継がれる"盛岡さんさ踊り"で幕を開け、三陸産の魚介類や岩手牛の美食を満喫しました。北海道東北地区の皆さまからのご好意による、地酒飲み比べコーナーが出現しました。盛岡ならではの地区対抗「わんこそば大会」も行われ、会場が熱気に包まれ、東海地区の優勝となりました。



北海道・東北地区協議会長の八田守立氏から池田理事長へ、そして次年度開催地の中国地区副協議会長である、今浦公博氏へ『鍵』の伝達が行われました。

## ● エクスカージョン ●

### 『平泉世界遺産コース』

幹事：有限会社 遠野葬祭 佐々木順一氏

日本百景のひとつ、新緑の猊鼻渓へ。高さ50mを超える石灰岩の岸壁が続く渓谷を、涼風を感じながら舟下りで堪能しました。平泉レストハウスにて復興支援の昼食後、中尊寺見学へ。「金色堂」では金箔だけでなく、工芸技術に皆さん注目されていました。平泉の長い歴史を肌で感じる日となりました。



## 親睦

## ゴルフコンペ

晴天に恵まれた絶好のゴルフ日和。岩手県花巻市の盛岡南ゴルフクラブで開催されました。池が巧みに配されたコースに14名の参加者は持てる腕前で挑み、充実したラウンドとなりました。

幹事：株式会社 丸屋仏壇店 丸屋輝夫氏

優勝：河田 栄治氏

株式会社浄華 (東海地区)

準優勝：垣谷 昌一氏

株式会社保志 (北海道・東北地区)

第3位：中島 康憲氏

株式会社中島晴薫堂 (九州・沖縄地区)

BB賞：本保 実氏

株式会社本保 (北越地区)



## 事務局からのお知らせ

### 1. 当面のスケジュール

- ◆ 令和元年 8月20日(火)～22日(木)  
エンディング産業展 2019  
(東京ビッグサイト PRAY for (ONE) 出展)
- ◆ 令和元年 10月2日(水)～3日(木)  
全国研修会 (メルパルク京都)

2. 組合員数 331名 (令和元年6月30日現在)

### 3. 組合関係者の訃報 (平成30年12月15日～令和元年6月30日)

#### 【北海道・東北地区】

(有) 小柳仏壇店 取締役社長 渡部徳章様ご母堂 渡部利紀子様 平成31年4月25日 享年86歳  
(株) ごんきや 取締役会長 佐藤仁一郎様ご母堂 佐藤みや子様 平成31年4月24日 享年94歳

#### 【京滋地区】

(株) 松栄堂 取締役社長 畑正高様ご母堂 畑淑子様 令和元年5月1日 享年92歳

#### 【阪奈兵和地区】

(株) 宮岸仏具 取締役社長 宮岸隆様ご尊父 宮岸正様 令和元年5月14日 享年89歳